

(様式3)

会議の開催結果について

1 会議名	かわちながの森林プラン推進協議会
2 開催日時	平成30年3月2日(金) 午後2時から
3 開催場所	河内長野市役所 8階 801(西)会議室
4 会議の概要	<ul style="list-style-type: none"><li>・平成29度のかわちながの森林プラン実行プランの報告</li><li>・平成30度のかわちながの森林プラン実行プランについて</li><li>・意見交換</li></ul>
5 公開・非公開の別 (理由)	公開
6 傍聴人数	0人
7 問い合わせ先	(担当課名) 環境経済部 農林課 林政・土地改良係 (内線440)
8 その他	

\*同一の会議が1週間以内に複数回開催された場合は、まとめて記入できるものとする。

## 第2回かわちながの森林プラン推進協議会 会議記録

会議名称 第2回かわちながの森林プラン推進協議会  
開催日時 平成30年3月2日(金)午後2時から午後3時40分まで  
開催場所 河内長野市役所 8階 801(西)会議室  
出席者 委員(別紙名簿のとおり)  
事務局 田中課長、加納主幹、福田主査、住田、松見  
会議内容 別紙次第のとおり。詳細は以下のとおり。

### ○詳細

#### 1. 開会

委員7名中、7名が出席され、設置条例第6条第2項「委員の半数以上が出席」に基づき、会議を開会した。

田中課長より開会のあいさつ。

#### 2. 議事

(案件1 平成29年度のかわちながの森林プラン実行プランの報告)

事務局担当より、実行プランの実績資料を用いて説明し承認いただいた。質疑については以下のとおり。

A. 多面的機能保全のための森林について

倉橋委員：10月に大きい台風があったが、災害については森林プランに入っていないのか。手入れ不足の森林において災害などはあったのか。

事務局：林道の被災がいくつかあり、林道災害として応急復旧の対応を行った。森林プラン推進事業とは別に災害事業として例年対応している。林地災害についてはなかった。

仲谷委員：病虫害の対応はなかったようだが、予防などはしないのか。見つかったら予防伐採や事前駆除をすることもできると思うが。

事務局：岩湧の森で四季彩館と連携して防虫などの勉強はしているが、市として個人の山についてどこまで踏み込んでいくかは難しいところである。

奥野会長：市以外の部分は府で対応したりするのか。カシの木などは倒れるのが早いので所有者へ展開するなど。

堀切委員：国の補助事業があり、北摂などでは利用されている。今年度は泉州の方で初めて予算を確保したと聞いている。民有林については補助事業での対応が基本となるのでは。

事務局：市としても補助事業として受け皿は用意している。ただ、受け身のままでいいのかは検討が必要で、調査をして発見をしても所有者に個別に周るなどは難しい。所有者の意識もどうなのかが重要である。個人で難しければ森林組合で取りまとめていただくことなどもどうか。

塩野委員：北摂では府の森林環境税で主要道路沿いのナラ枯れ対策をしているところもある。残念ながら河内管内は対象の路線がない。今後の状況を見て盛り込むことも検討は必要かもしれない。

事務局：所有者への啓発については市としても検討していきます。

倉橋委員：登山者に対しても民有地を歩いている認識を持つためのPRができればよい。

## B. おおさか河内材生産を担う森林について

塩野委員：木のある暮らしコンテストの商品化について、来年度から販売予定とあるが具体的なスケジュールなどはどうなっているのか。

事務局：本年度に製造と販売が可能な業者を市内で公募し、1社手の上がった会社で商品の試作までは終わっている。現在カタログ作成を進めており、年度内に完成予定である。完成次第製造業者と協定を締結し、製造業者での販売を開始し、広報については市も連携して行う予定である。

倉橋委員：企画書にはターゲットは消費者となっているが、おおさか河内材を使いたい製造業者の開拓も重視すべきではないか。

事務局：今回の製造業者以外にも手が上がれば製造していただくことも可能と考えている。そこについての発信も検討する。

堀切委員：大阪府で幼稚園や保育園に導入する木製遊具への補助金があるが、こういった商品も対象になるのか。府内産材である必要はあるのか。

塩野委員：対象になる。市の方にも補助金の話はしている。木材であれば府内産材でなくてもよい。

倉橋委員：そういった補助金が使えることも製造業者側へのPRにつながると思う。

奥野委員：おおさか河内材のパンフレットを作ってもらったので、広く活用していただきたい。

堀切委員：今年度設立したおおさか河内材販売促進協議会では、森林組合が事務局もさせておいており、木のある暮らしコンテストの商品化においても協力させていただいた。今後も協力しながら広めていきたい。

## C. 学び楽しむための森林

堀副会長：教育機関との連携について4事業となっているが、トモロスは高向小学校と石仏小学校で校内林の伐採や出前講座、クラフト体験を実施しているので、事業に加えてもらってもいい。

倉橋委員：森林E S Dの話が話題になってきており、平成32年からの実施を前に学校の先生などが動き始めると思う。事業体などへのアンケートは平成31年実施予定になっているが、この機会を逃さないようにスケジュールの前倒しをした方がいい。

事務局：スケジュールについては検討する。

堀副会長：森林E S Dについてはトラスト協会から急に声がかかり会議にも出席してきた。林野庁の人も来て学校指導要領に組み込まれる旨を話された。当然1団体で対応できるものではなく、各団体で連携が必要になる。

堀切委員：府内で1000校程度の学校がある様。森林組合としては木根館の指定管理もさせてもらっており、今年は大教大附属小学校との連携も行った。実績もあるので先導的にやっていきたい。

堀副会長：こういう動きは環境面だけでなく、観光にもつながると思うので、いい流れにしていきたい。

案件1について質疑終了

(案件2 平成30年度のかわちながの森林プラン実行プランの予定について)

事務局担当より、平成30年度かわちながの森林プラン年間スケジュールを用いて説明し、計画について承認いただいた。質疑応答については以下のとおり。

堀切委員：河内材の利用実績の調査とあるがどういうイメージか。

事務局：市内外問わず、おおさか河内材の活用事例を調査する予定。搬出量については共販所の実績を元にする。

堀切委員：共販所については今年度の見込みは5500㎡で、増加傾向にある。増加している理由としては補助事業の増加も影響していると思う。

堀切委員：発信先の開拓について、発信する内容はどのようなものを想定しているか。

事務局：市で行うイベントや事業などを想定している。他団体へ発信先を紹介することも可能。

倉橋委員：次回の推進協議会については7月上旬で検討してほしい。

事務局：承知した。

案件2について質疑終了

### 3. 意見交換

倉橋委員：森林ESDもそうだったが、推進協議会に何か情報共有したい場合は市を通じて行えばいいのか。

事務局：皆様が良ければ市から委員に共有させていただく。(一同異議なし)

塩野委員：平成31年以降、国の森林環境税に係る事業を市町村で行っていく必要があり、市町村においては来年度中に具体的な内容を検討することになると思う。

森林プランを立てているのは府内でも河内長野市だけであるので、ぜひ環境税の取り組みについてもこういった場で議論していければと思う。

奥野会長：市町村での対応必要なものが多くなると思うが頑張してほしい。

事務局：ポジティブにとらえて前向きに取り組んでいきたい。

### 4. 閉会

議事がすべて終了し、次回は平成30年7月上旬を目途に開催予定として閉会した。

以上

平成29年度  
第2回かわちながの森林プラン推進協議会

平成30年3月2日  
801西会議室

会 議 次 第

1. 開 会

2. 議 事

案件1 平成29年度のかわちながの森林プラン実行プランの報告

案件2 平成30年度のかわちながの森林プラン実行プランの予定に  
ついて

3. 意見交換

4. 閉 会

かわちながの森林プラン推進協議会 委員名簿

	区分	所属等	委員名	備考
1	森林所有者	農林業従事	おくの ひさかず 奥野 壽一	会長
2	森林に 関連する団体	NPO法人森林ボランティア トモロス 理事長	ほり やすあき 堀 泰明	副会長
3	森林所有者	河内長野市地区推進協議会	いのもと てつお 井元 哲夫	
4	林業従事者	大阪府森林組合南河内支店 理事支店長	ほりきり しゅうへい 堀切 修平	
5	林業従事者	株式会社 南河内林業 取締役	なかたに たかのり 仲谷 貴紀	
6	森林に 関連する団体	林業女子会@大阪 代表	くらはし ようこ 倉橋 陽子	
7	関係行政機関	大阪府南河内農と緑の総合事務所 森林課長	しおの まさのり 塩野 雅典	